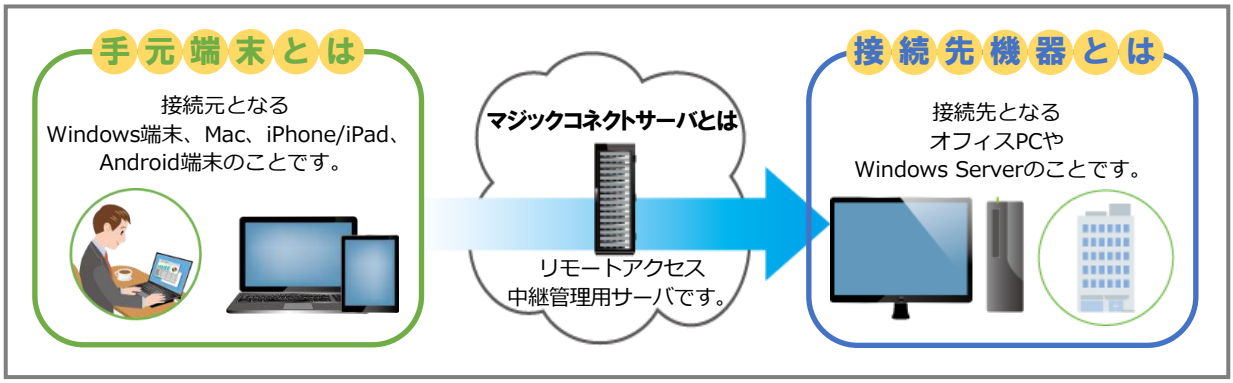
はじめに

マジックコネクトは、手元端末から接続先機器（対象機器）へ安全に接続できるリモートアクセスサービスです。



ご利用までの流れ

サービス開始時

1 配布物の確認

アカウント管理者※から配布された
右記の物をご確認ください。

※ 貴社において、マジックコネクトのアカウント管理を担当されている方です。

配布物	説明
マジックコネクトのアカウント情報	以下の３つの情報です。 □サーバ情報 □アカウント(ユーザ名) □パスワード

2 接続先機器の設定 …… p. 2

3 手元端末の設定/操作 …… p. 9

4 パスワードの変更 …… p.20

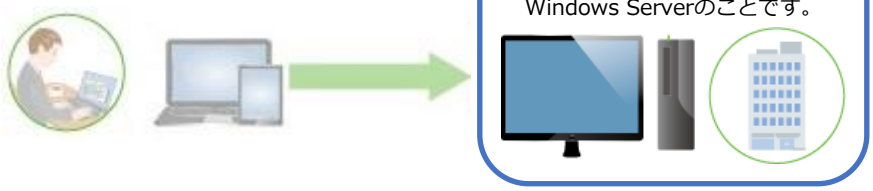
各種マニュアルについて

「お客様サポート」→「マニュアル」に掲載しています。
（https://www.magicconnect.net/support/manual/）

困ったときは

エラーなどでセットアップがうまくいかない場合は、お客様サポートページ
（https://www.magicconnect.net/support/）の「困ったときは」をご覧ください。
上記を参照しても、問題が解決しない場合は、貴社のアカウント管理者へお問い合わせください。

接続先機器の設定



Windows 11 を例に説明します。
設定は管理者権限で行ってください。

設定内容

1. Windowsの設定 - スリープの解除 …… p. 3
2. MagicConnectクライアントプログラムのインストール …… p. 4
3. MagicConnectクライアントプログラムの初期設定と接続 …… p. 5
4. Windowsの設定 - パスワードによるサインインの許可 …… p. 8

ワンポイント

【接続先機器のWindowsがHomeエディションの場合 / VNCを利用する場合】

接続先機器のWindowsがHomeエディションの場合、Windowsのリモートデスクトップではなく VNCという連携アプリケーションを利用する必要があります。**「1. Windowsの設定 - スリープの解除」～「3. MagicConnectクライアントプログラムの初期設定と接続」後、お客様サポートページ**（http://www.magicconnect.net/support/）**の[マニュアル]→[従来モデルのEX/EX+エディション関連]→「VNC セットアップ手順」**へお進みください。

1. Windowsの設定 - スリープの解除

Step1 [スタート]を右クリック→[電源オプション] を開きます。

Step2 「画面、スリープ、休止状態のタイムアウト」の「電源に接続」「次の時間が経過後にデバイスをスリープ状態にする」を「なし」に設定します。

【Windows 10の場合】
「スリープ」の「次の時間が経過後、PCをスリープ状態にする（電源に接続時）」を「なし」に設定します。

⚠注意 接続先機器がスリープ状態になると、社外からマジックコネクトで接続できなくなります。

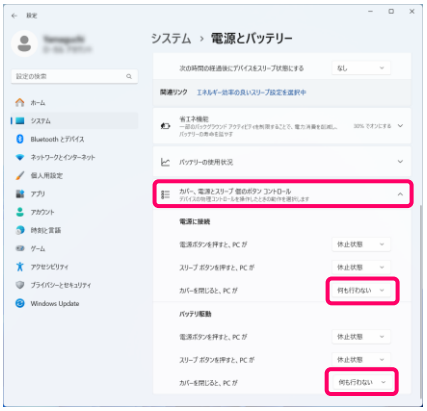
ワンポイント

【接続先機器がノートパソコンの場合】
接続先機器がノートパソコンの場合、Step2 の設定に加え、追加で以下2点の設定を行います。

① 「電源に接続」に加えて「バッテリ駆動」「次の時間が経過後にデバイスをスリープ状態にする」を「なし」に設定します。

【Windows 10の場合】
「スリープ」に「次の時間が経過後、PCをスリープ状態にする（バッテリー駆動時）」の設定が追加で表示されますので、「なし」に設定します。

②カバーを閉じた時にスリープ状態に入ってしまうのを防ぐため、以下の設定を行います。



「カバー、電源とスリープ 個のボタン コントロール」にある「電源に接続」/「バッテリ駆動」それぞれの「カバーを閉じると、PCが」を「何も行わない」に設定します。

【23H2以前のWindows 11の場合】
「カバー、電源とスリープ 個のボタン コントロール」がありません。代わりに、
[スタート] → [すべてのアプリ] → [Windowsツール] → [コントロール パネル] を開き、[ハードウェアとサウンド]を選択します。
[電源オプション]の中から[電源ボタンの動作の変更]を開きます。
「電源とスリープ ボタンおよびカバーの設定」→ [カバーを閉じたときの動作：]→「電源に接続：何もしない」を選択して、「変更の保存」を選択します。

【Windows 10の場合】
「電源とスリープ」の右側を下にスクロールし、[関連設定]の「電源の追加設定」を押し、表示された画面の左側メニューから「カバーを閉じたときの動作の選択」→ [カバーを閉じたときの動作：]→「電源に接続：何もしない」を選択して、「変更の保存」を選択します。

2. MagicConnectクライアントプログラムのインストール

Step1 マジックコネクトWebサイトの以下URLにアクセスし、
MagicConnectクライアントプログラムのセットアップファイルを
ダウンロードします。

【セットアップファイルのダウンロード】
https://www.magicconnect.net/download/pkg/mcclient20_setup.exe

---

Step2 ダウンロードしたセットアップファイル（右記の
「mcclient20_setup.exe」）をダブルクリックで実行します。

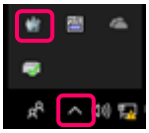
Step3 右記の確認ダイヤログが表示された場合は「はい」を選択します。

Step4 表示される画面の指示に従い、インストールを完了させます。

---

3. MagicConnectクライアントプログラムの初期設定と接続

Step1 デスクトップの画面右下、通知領域に表示されているグレーの炎のアイコンを右クリックし、メニューから「設定...」を選択します。

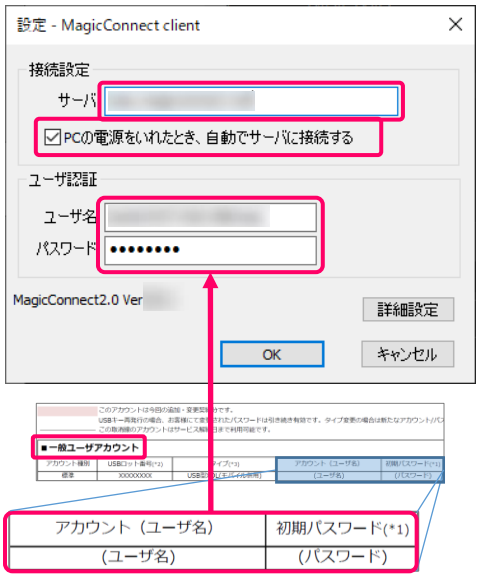
> ⚠注意　アイコンが表示されない場合は、通知領域の ^ を押し、隠れている炎のアイコンを表示させます。
>
> 

Step2 設定画面の「サーバ」に、「ユーザアカウント一覧表」に記載されているサーバ情報を入力します。

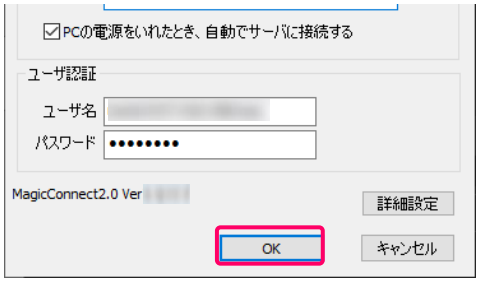
次に、「PCの電源をいれたとき、自動でサーバに接続する」にチェックを入れます。

次に、マジックコネクトのユーザ名とパスワードを入力します。

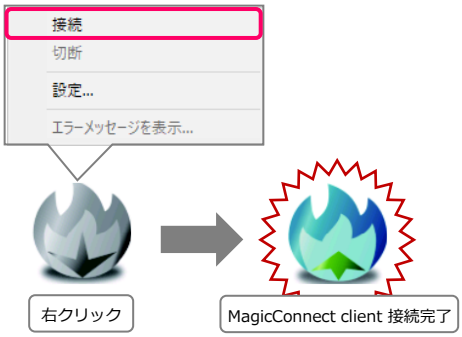
※ ユーザ名と初期パスワードは、「アカウント一覧表」の「一般ユーザアカウント」欄に記載されています。



「OK」を選択します。

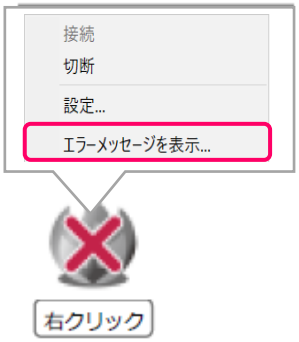


Step3 デスクトップ画面右下の通知領域にある炎のアイコンを右クリックし、メニューから「接続」を選択します。
アイコンがグレーからブルーに変わり、マウスカーソルをアイコンに重ねると「MagicConnect client 接続完了」と表示されます。



ワンポイント

【炎のアイコンに×が表示される場合】



マジックコネクトサーバへの接続に失敗しています。
アイコンを右クリックし、メニューから「エラーメッセージを表示...」を選択し、接続に失敗している理由やお問い合わせコードをご確認ください。

代表的なお問い合わせコードと対処方法について

- お問い合わせコード **291**
  - p.4 Step2の「サーバ」「ユーザ名」「パスワード」に誤りが無いかご確認ください。
  - エラー理由が不明の場合、アカウント管理者向け管理機能により具体的な内容を確認できます。
    接続時に認証エラーが発生した場合の対処方法 をご覧ください。

- お問い合わせコード **1411** または **1441**
  - インターネットが利用可能な状態かご確認ください。
  - p.4 Step2の「サーバ」に誤りが無いかご確認ください。
  - **ネットワークの管理者にProxyを利用する環境か確認してください。**
    インターネット接続にProxyを利用する環境の場合、
    p.23の「Proxyの設定」を実施してください。

- お問い合わせコード **431**
  - よくあるご質問「SSLセキュリティ証明書情報に問題を確認しました」

お問い合わせコードの詳しい説明や対処方法については、お客様サポートページ(https://www.magicconnect.net/support/) の[困ったときは]「お問い合わせコードと対処方法」も併せてご覧ください。

ワンポイント

【接続先機器のWindowsがHomeエディションの場合 / VNCを利用する場合】

接続先機器のWindowsがHomeエディションの場合、Windowsのリモートデスクトップではなく VNCという連携アプリケーションを利用する必要があります。**ここで本書の利用を終了**し、
お客様サポートページ（http://www.magicconnect.net/support/）**の**
[マニュアル]→[従来モデルのEX/EX+エディション関連]→「VNC セットアップ手順」へお進みください。

以上で、接続先機器は、手元端末からのリモートアクセスを受け付ける状態になっています。
接続先機器からサインアウトしても、スリープや電源OFFにならない限り、リモートアクセスを受け付けます。

リモートアクセス時のトラブルを回避するため、続く「４. Windowsの設定 - パスワードによるサインインの許可」も、確認と、必要に応じた設定変更を実施してください。

4. Windowsの設定 – パスワードによるサインインの許可

ワンポイント

【この手順は、普段利用するWindowsユーザーで実施します】

Windowsユーザーを、管理者ユーザーと普段利用するユーザーとで使い分けている場合、普段利用するWindowsユーザー（リモートからアクセスする際にサインインしたいWindowsユーザー）で確認してください。

Step1 普段利用するWindowsユーザー（リモートからアクセスする際にサインインしたいWindowsユーザー）でサインインし、
[スタート]を右クリック→[設定] を開きます。

Step2 設定アプリで「アカウント」を選択します。

「アカウント」のメニューから「サインイン オプション」を選択します。

【Windows 11の場合】
1. 項目「セキュリティ向上のため、このデバイスではMicrosoftアカウント用にWindows Helloサインインのみを許可する（推奨）」
   が存在し、状態が「オン」の場合は「オフ」にします。
   （存在しなければ変更は必要ありません。）
2. 「サインインする方法」の項目「パスワード」を開きます。
   「追加」が表示される場合は、「追加」を選択してパスワードを設定します。
   「変更」が表示される場合は何もしません。

【Windows 10の場合】
1. 項目「MicrosoftアカウントにWindows Hello サインインを要求する」
   が存在し、状態が「オン」の場合は「オフ」にします。
   （存在しなければ変更は必要ありません。）
2. 「デバイスへのサインイン方法の管理」の項目「パスワード」を開きます。
   「追加」が表示される場合は、「追加」を選択してパスワードを設定します。
   「変更」が表示される場合は何もしません。

ワンポイント

【項目「パスワード」が表示されない場合】

グループポリシー等でパスワードによるサインインが制限されている可能性があります。PCのポリシーを管理している方へ確認してください。

以上で、接続先機器の設定は完了です。
接続先機器からサインアウトしても、スリープや電源OFFにならない限り、リモートアクセスを受け付けます。

END

手元端末の設定/操作

手元端末とは

接続元となる
Windows端末、iPhone/iPad、
Android端末のことです。

「端末認証型」の契約では次の方法で手元端末を利用できます。
ビューアアプリの実行方法と手元端末の種類に応じた手順ページへお進みください。

	ビューアアプリの実行方法	手元端末の台数	手元端末の種類	設定/操作の手順
A	手元端末にインストールした アプリを実行する	特定の1台 （※）	Windows端末	>> p.10

＋

	ビューアアプリの実行方法	手元端末の台数	手元端末の種類	設定/操作の手順
B	手元端末にインストールした アプリを実行する	特定の1台 （※）	iPhone/iPad, Android端末	>> p.14

ワンポイント

【開通直後はiPhone/iPad、Android端末からの利用が禁止されています】

アカウント管理者が管理機能から許可設定を実施した場合のみ利用できます。
アカウント管理者が事前に許可設定を実施していることをご確認ください。
許可設定の方法は
「管理機能の利用手順(アカウント管理者)」の
「3.3.2. モバイル(iPhone/iPad, Android端末)からも利用できるようにする」をご覧ください。

ワンポイント

【※ 特定の1台】

利用する手元端末を特定するため、初回ログイン時に手元端末の固有情報（端末認証情報）がサーバに登録されます。
手元端末を変更する場合は、サーバに登録された端末認証情報の初期化を、アカウント管理者に依頼してください。
初期化の方法は
「管理機能の利用手順(アカウント管理者)」の
「3.2. 端末認証型やモバイルで利用する手元端末を変更する」をご覧ください。

- 同時利用でなければ、上の表の「A」と「B」を併用できます。

手元端末の設定/操作［Windows］

設定内容

1. MagicConnectビューアアプリのインストール …… p.10
2. MagicConnectビューアアプリの実行 …… p.10
3. MagicConnectビューアアプリの初期設定と接続 …… p.11
4. MagicConnectビューアアプリの終了 …… p.13

ワンポイント

【インストール作業をするWindowsユーザーは、普段利用するWindowsユーザーです】

ビューアアプリはインストール作業をするWindowsユーザーの個人領域にインストールされます。
Windowsユーザーを、管理者ユーザーと普段利用するユーザーとで使い分けている場合、普段利用するWindowsユーザーでビューアアプリをインストールしてください。

1. MagicConnectビューアアプリのインストール

Step1

マジックコネクトWebサイトの以下URLにアクセスし、
セットアップファイルをダウンロードします。

【セットアップファイルのダウンロード】
https://www.magicconnect.net/download/pkg/mcviewer20_setup_exs_plus_mc_assist.exe

Step2

ダウンロードしたセットアップファイル（右記の「mcviewer20_setup_***_mc_assist.exe」）をダブルクリックで実行し、指示に従いインストールを完了します。

ダブルクリック

2. MagicConnectビューアアプリの実行

Step1

デスクトップ、もしくは［スタート］→［MagicConnect2.0 Viewer］から右記の炎のアイコン「MagicConnect2.0 Viewer Plus」を実行します。

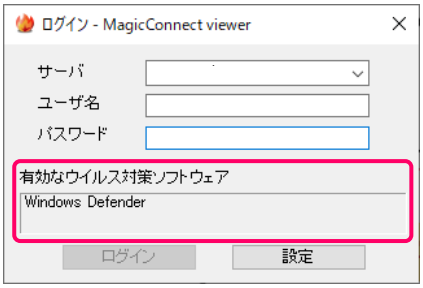
ダブルクリック

ワンポイント

【プラスエディションの検疫機能について】

プラスエディションは、ログイン画面に
「有効なウイルス対策ソフトウェア」が表示されます。

詳細は、Webサイト（https://www.magicconnect.net/）の［ラインナップ・価格］タブ→［主な仕様］→［エディション］→［プラスエディション］→［プラスエディションの詳細はこちら］をご確認ください。



3. MagicConnectビューアアプリの初期設定と接続

Step1 ログイン画面の「サーバ」に、「ユーザアカウント一覧表」に記載されているサーバ情報を入力します。

続いてマジックコネクトの「ユーザ名」と「パスワード」を入力し、「ログイン」を選択します。

※ ユーザ名と初期パスワードは、「アカウント一覧表」の「一般ユーザアカウント」欄に記載されています。

ワンポイント

【お問い合わせコード 1413 または 1443 が表示される場合】

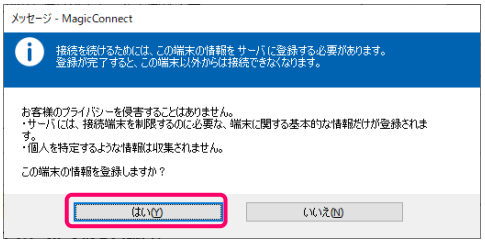
- 手元端末でインターネットが利用可能な状態かご確認ください。
- Step1の「サーバ」に誤りが無いかご確認ください。
- **ネットワークの管理者にProxyを利用する環境か確認してください。**
  ご利用環境によっては、Proxyの設定を手動で実施する必要があります。
  ネットワーク管理者にProxyの情報を確認の上、p.26の「Proxyの設定」を実施してください。

ワンポイント

【お問い合わせコード 293 が表示される場合】

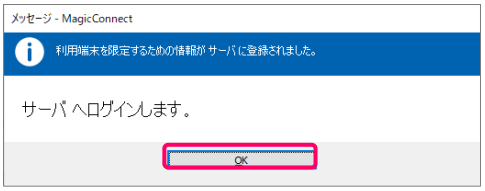
- 「サーバ」「ユーザ名」「パスワード」に誤りが無いかご確認ください。
- エラー理由が不明の場合、アカウント管理者向け管理機能により具体的な内容を確認できます。
  接続時に認証エラーが発生した場合の対処方法 をご覧ください。

Step2 初回ログイン時には右記のメッセージが表示されます。
「はい」を押すと、手元端末の固有情報（端末認証情報）がサーバに登録されます。
登録後は、Windows端末については本設定を行った手元端末とWindowsユーザー組み合わせしかログインできなくなります。

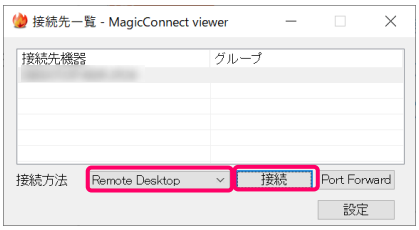


利用する手元端末を変更する場合は、サーバに登録された端末認証情報の初期化を、アカウント管理者に依頼してください。

メッセージ「サーバへログインします。」が表示されたら「OK」を選択します。



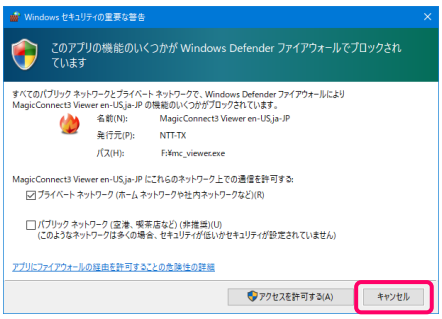
Step3 接続先一覧画面の「接続先機器」から、接続したい接続先機器を選択します。
「接続方法」から「Remote Desktop」が選択されていることを確認し、「接続」を選択します。



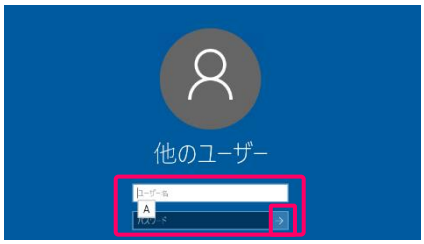
ワンポイント

【Windowsセキュリティの警告が表示される場合】

マジックコネクトを初めて利用するPCでは、リモートデスクトップの接続を開始した直後に「Windows Defender ファイアウォールでブロックされています」という警告が表示される場合があります。
ブロックされた状態であってもマジックコネクトを正常に利用できますので、「キャンセル」を押して警告を閉じてください。



Step4 右記の画面に接続先機器のWindowsユーザー名、パスワードを入力して、「→」を選択します。
デスクトップ画面が表示され、接続先機器の操作が可能になります。



ワンポイント

【接続先機器への接続やWindowsサインインに失敗する場合】

以下のよくあるお問い合わせをご確認ください。

- 青い画面や黒い画面のまま何も表示されない。
- メッセージ「アカウントの制限により、このユーザーはサインインできません。空のパスワードが許可されていない……」
- メッセージ「リモートデスクトップサービス経由でサインインする権限が必要です」
- メッセージ「認証が有効になっていないため接続を続行できません……」
- メッセージ「ネットワーク レベルの認証が必要です……」
- お問い合わせコード:743
- お問い合わせコード:1073
- お問い合わせコード:1083

ワンポイント

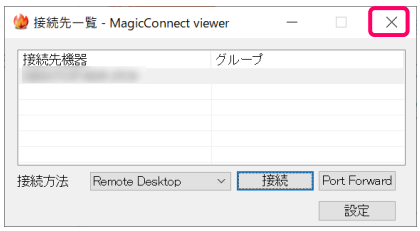
【接続先機器のWindowsがHomeエディションの場合 / VNCを利用する場合】

接続先機器のWindowsがHomeエディションの場合、Windowsのリモートデスクトップではなく VNCという連携アプリケーションを利用する必要があります。**お客様サポートページ**（http://www.magicconnect.net/support/）**の [マニュアル]→[従来モデルのEX/EX+エディション関連]→「VNC セットアップ手順」**へお進みください。

4. MagicConnectビューアプログラムの終了

Step1 マウスカーソルをデスクトップ画面の最上端に移動し、台形の上部バーの「×」を選択します。

Step2 接続先一覧画面の「×」を選択します。



END

ワンポイント

【自動接続ツール「MCアシスト」】

MC アシストを利用すると、マジックコネクトサーバへの接続～接続先機器のWindowsログオン画面表示までを自動的に実行できます。

MCアシストの設定方法についてはp.27の「MCアシストの設定」をご覧ください。

手元端末の設定/操作[iPhone/iPad, Android端末]

iPhone/iPadの場合
iPhone/iPadにApple IDを設定してから、本設定を行ってください。

Androidの場合
Android端末にGoogleアカウントを設定してから、本設定を行ってください。

設定内容

1. MagicConnect ビューアアプリ のインストール …… p.14
2. MagicConnect ビューアアプリの初期設定と接続 …… p.14
3. 手元端末(iPhone/iPad)の操作 …… p.18
4. 手元端末(Android端末)の操作 …… p.19

1. MagicConnect ビューアアプリのインストール

Step1 [App Store] 、[Play ストア]アプリから
MagicConnect ビューアアプリインストールします。

2. MagicConnect ビューアアプリの初期設定と接続

Step1 インストールされた右記のアプリを選択します。

Step2 「マジックコネクト・ネオ」のスイッチが ON の場合、スイッチをオフにして「マジックコネクト（従来モデル）」へ切り替えます。

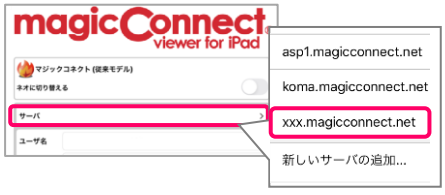
「サーバ」欄が表示されます。

ワンポイント

【「マジックコネクト・ネオ」と「（従来モデル）」の切り替えスイッチが無い場合】

Ver9.1より古いバージョンでは、「マジックコネクト・ネオ」と「（従来モデル）」の切り替えスイッチがありません。そのままStep3へ進んでください。

Step3 「サーバ」を選択して、「ユーザアカウント一覧表」のサーバ情報に記載されているサーバを一覧から選択します。



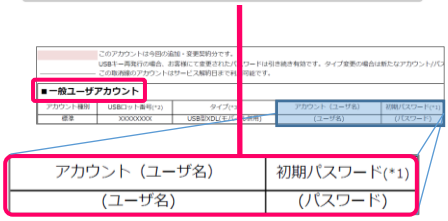
ワンポイント

【一覧に含まれないサーバを指定したい場合】

「新しいサーバの追加」を選択し、サーバ情報を入力してください。

Step4 「ユーザ名」と「パスワード」に、マジックコネクトのアカウント(ユーザ名)とパスワードを入力して、「ログイン」を選択します。

※アカウント(ユーザ名)と初期パスワードは、「アカウント一覧表」の「一般ユーザアカウント」欄に記載されています。



ワンポイント

【お問い合わせコード 1413 または 1443 が表示される場合】

- 手元端末でインターネットが利用可能な状態かご確認ください。
- 「サーバ」に誤りが無いかご確認ください。
- **ネットワークの管理者にProxyを利用する環境か確認してください。**
  ご利用環境によっては、Proxyの設定を手動で実施する必要があります。
  ネットワーク管理者にProxyの情報を確認の上、p.29の「Proxyの設定」を実施してください。

ワンポイント

【お問い合わせコード 293 が表示される場合】

- 「サーバ」「ユーザ名」「パスワード」に誤りが無いかご確認ください。
- エラー理由が不明の場合、アカウント管理者向け管理機能により具体的な内容を確認できます。アカウント管理者に確認を依頼してください。アカウント管理者による確認手順は
  接続時に認証エラーが発生した場合の対処方法 をご覧ください。

ワンポイント

【お問い合わせコード 1723 が表示される場合】

- iPhone/iPad, Android端末から利用するためには、アカウント管理者による許可が必要です。アカウント管理者に許可を依頼してください。
- アカウント管理者が許可するための操作は
  「管理機能の利用手順(アカウント管理者)」の
  「3.3.2. モバイル(iPhone/iPad, Android端末)からも利用できるようする」をご覧ください。

Step5 初回ログイン時には右記のメッセージが表示されます。
「OK」を押すと、手元端末の固有情報（端末認証情報）がサーバに登録されます。
登録後は、iPhone/iPad, Android端末については本設定を行った手元端末しかログインできなくなります。

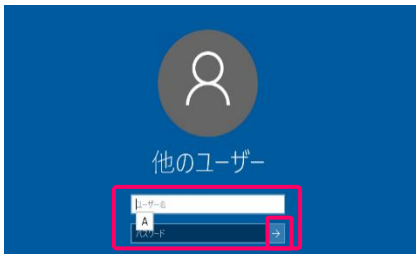
利用する手元端末を変更する場合は、サーバに登録された端末認証情報の初期化を、アカウント管理者に依頼してください。

Step6 接続先一覧画面で、「接続方法:」から「リモートデスクトップ」が選択されていることを確認します。
「接続先：」から、接続したい接続先機器を選択します。

Step7 Windowsサインイン情報入力画面で、接続先機器のWindowsユーザー名とパスワード、必要に応じてドメインを入力し、「接続先の画面を表示」を選択します。
ユーザ名とドメインは、１組だけ保存されます。

※ マジックコネクトのユーザ名やパスワードではありません。

上記でユーザ名などを入力せずに「接続先の画面を表示」を選択した場合は、右記の画面でWindowsのユーザー名とパスワードを入力し、「→」を選択します。



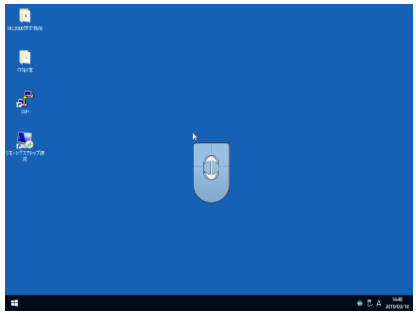
ワンポイント

【接続先機器への接続やWindowsサインインに失敗する場合】

以下のよくあるお問い合わせをご確認ください。

- 青い画面や黒い画面のまま何も表示されない。
- 一瞬黒い画面が表示された後に元の画面へ戻る。
- メッセージ「アカウントの制限により、このユーザーはサインインできません。空のパスワードが許可されていない……」
- メッセージ「リモートデスクトップサービス経由でサインインする権限が必要です」
- メッセージ「ネットワーク レベルの認証が必要です……」
- お問い合わせコード:743

Step8 デスクトップ画面と仮想マウスが表示され、接続先機器の操作が可能になります。

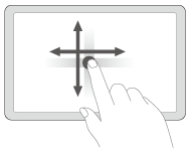
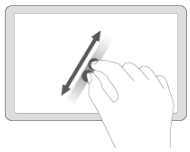


［手元端末（iPhone／iPad）の操作］ p.18 へ お進みください。
［手元端末（Android端末）の操作］ p.19 へ お進みください。

3. 手元端末(iPhone/iPad)の操作

Windowsデスクトップ画面の操作方法は、下記を参照してください。

画面全体の操作

画面の移動	画面の縮小/拡大
	
1本の指でドラッグする。	2本の指でピンチする。

各機能の表示や切替

メニューとキーボード	仮想マウス	英語/日本語の入力切替
表示 画面下部の ボタンを選択する。 **非表示** メニューの ボタンを選択する。	**表示** メニューを表示し、 ボタンを選択してから、 ボタンを選択する。 **非表示** メニューを表示し ボタンを選択してから、 ボタンを選択する。	キーボードを表示し、キーボード左下の ボタンもしくは、左上の 半角/全角 ボタンを選択する。

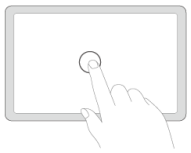
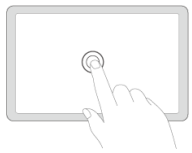
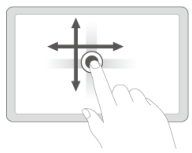
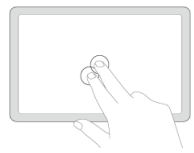
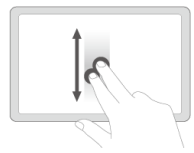
マウスの操作

画面上に表示された仮想マウスを操作してください。

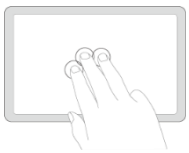
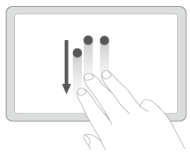
ワンポイント

【さらに便利な操作方法】

仮想マウスによる操作と同時に、画面を直接タップ、スクロールする操作も可能です。

左クリック	左ダブルクリック	左ドラッグ	右クリック	ホイール
				
1本の指でタップする。	1本の指で2回タップする。	1本の指で2回タップし、指を離さずドラッグする。	2本の指でタップする。 または、1本の指で長押しする。	2本の指で上下にスクロールする。

メニュー/キーボードの表示/非表示を3本指で操作することも可能です。

メニュー	キーボード
	
3本の指でタップする。	3本の指で下にスワイプする。

<操作説明>

アクション	操作説明
ドラッグ	1本の指で画面をなぞる
ピンチ	2本の指で画面をつまむ(広げる)
タップ	1本の指で画面を軽く叩く
スクロール	画面を上下になぞる
スワイプ	画面を下方向になぞる

切断

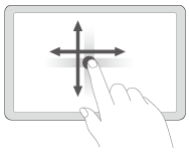
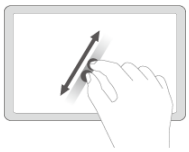
Step1 画面下部の ボタンを選択し、表示されたメニューから ボタンを選択、 ボタンを選択します。

END

4. 手元端末(Android端末)の操作

Windowsデスクトップ画面の操作方法は、下記を参照してください。

画面全体の操作

画面の移動	画面の縮小/拡大
 1本の指でドラッグする。	 2本の指でピンチする。

各機能の表示や切替

メニュー	キーボード	仮想マウス	英語/日本語の入力切替
表示 / 非表示 画面中央下の を選択する。 ビューア画面右下「 ⋮ 」縦3点ボタンを選択する。	**表示 / 非表示** メニューを表示し、「キーボード」ボタンを選択する。	**表示 /非表示** メニューを表示し、「マウス」ボタンを選択する。	キーボードを表示し、画面上部にある 半角/全角 ボタンを選択する。

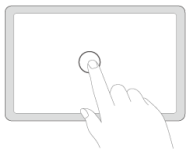
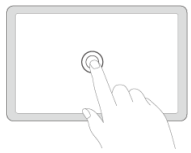
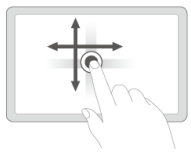
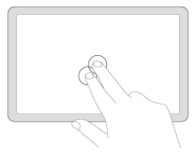
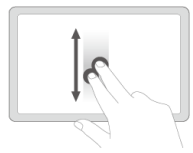
マウスの操作

画面上に表示された仮想マウスを操作してください。

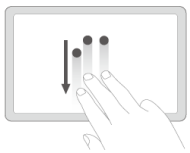
ワンポイント

【さらに便利な操作方法】

仮想マウスによる操作と同時に、画面を直接タップ、スクロールする操作も可能です。

左クリック	左ダブルクリック	左ドラッグ	右クリック	ホイール
 1本の指でタップする。	 1本の指で2回タップする。	 1本の指で2回タップし、指を離さずドラッグする。	 2本の指でタップする。または、1本の指で長押しする。	 2本の指で上下にスクロールする。

キーボードの表示/非表示を3本指で操作することも可能です。

キーボード
 3本の指で下にスワイプする。

<操作説明>

アクション	操作説明
ドラッグ	1本の指で画面をなぞる
ピンチ	2本の指で画面をつまむ(広げる)
タップ	1本の指で画面を軽く叩く
スクロール	画面を上下になぞる
スワイプ	画面を下方向になぞる

切断

Step1 画面中央下の ボタンを選択し、
表示されたメニューから 切断 「切断」ボタンを選択します。

END

パスワードの変更

アカウント管理者から配布された初期パスワードを自分だけが知る新しいパスワードへ変更します。その後、クライアントプログラムに保存したパスワードも、同じ新しいパスワードに設定します。

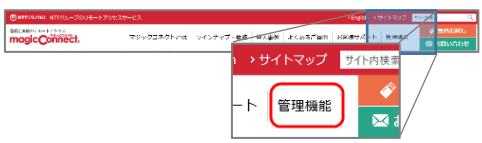
設定内容

1. 管理機能からパスワードを変更 …… p. 20
2. クライアントプログラムが保存するパスワードを変更 …… p. 22

> ⚠**注意** **【パスワード変更操作は接続先機器側で実施してください】**
> マジックコネクトサーバの管理機能を使ってパスワードを変更したら、接続先機器のクライアントプログラムが保存しているパスワードも直後に変更する必要があります。
> クライアントプログラムからマジックコネクトサーバへの接続が解除されてしまうとリモートからクライアントプログラムを操作できなくなるため、以降の操作は必ず接続先機器側で実施してください。

1. 管理機能からパスワードを変更

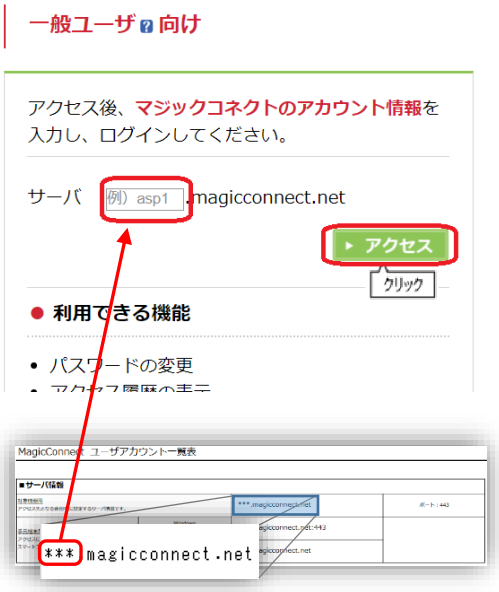
Step1 マジックコネクトホームページ(https://www.magicconnect.net/)より、「管理機能」を選択します。



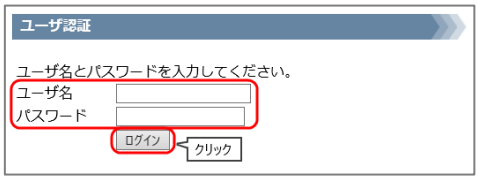
Step2 「一般ユーザ向け」項目の「サーバ」欄にサーバのホスト部分を入力し、「アクセス」を選択します。

サーバ情報は「ユーザアカウント一覧表」に記載されています。

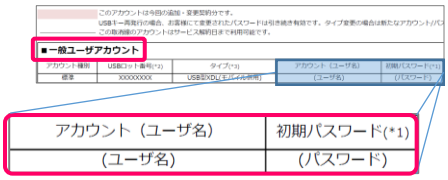
例えば、サーバ情報が
「asp1.magicconnect.net」の場合は「asp1」
「fuji.magicconnect.net」の場合は「fuji」
と入力します。



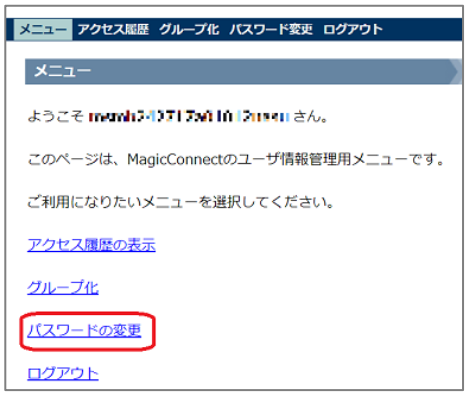
Step3 マジックコネクトのユーザ名とパスワードを入力し、「ログイン」を選択します。



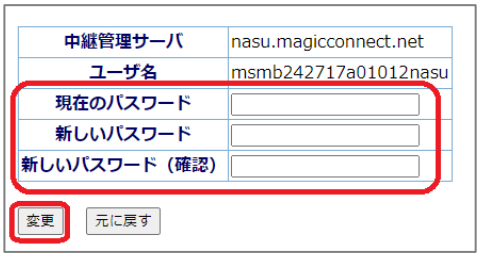
p.5でクライアントプログラムに設定したユーザ名とパスワードです。
初期パスワードは「アカウント一覧表」の
「一般ユーザアカウント」欄に記載されています。



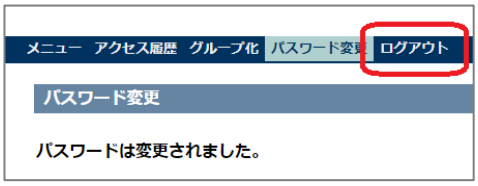
Step4 「ユーザ情報管理用メニュー」から「パスワードの変更」を選択します。



Step5 「現在のパスワード」と「新しいパスワード」を入力します。
誤入力防止のため「新しいパスワード（確認）」を入力します。
最後に「変更」を選択します。



Step6 パスワードの変更に成功したら「ログアウト」を選択します。

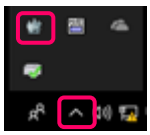


> ⚠**注意** **【次のページの作業も続けて実施してください】**

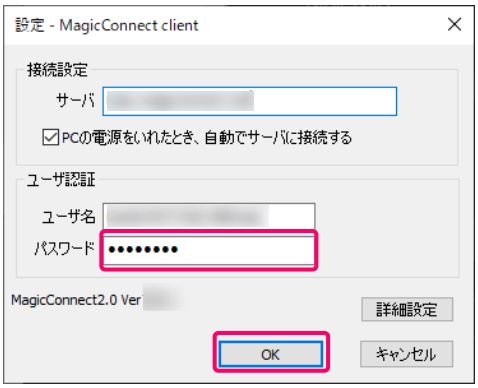
---

2. クライアントプログラムが保存するパスワードを変更

Step1 デスクトップの画面右下、通知領域に表示されている炎のアイコンを右クリックし、メニューから「設定...」を選択します。

> ⚠注意　アイコンが表示されない場合は、通知領域の ^ を押し、隠れている炎のアイコンを表示させます。
>
> 

Step2 「パスワード」に「1. 管理機能からパスワードを変更」で設定したパスワードを入力し、「OK」を選択します。



Step3 接続中の場合、切断、接続後に設定変更が反映されます。

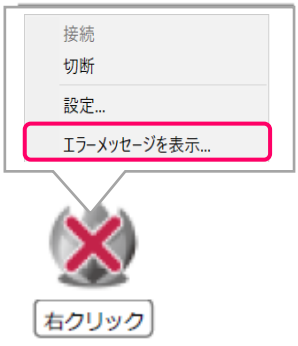
END

ワンポイント

【炎のアイコンに×が表示される場合】

アイコンを右クリックし、メニューから「エラーメッセージを表示...」を選択し、接続に失敗している理由やお問い合わせコードをご確認ください。
お問い合わせコード **291** の場合、入力したパスワードが誤っている可能性があります。パスワードを確認し、改めて設定し直してください。

解決しない場合やその他のお問い合わせコードの場合は、p.6のワンポイントをご確認ください。



接続先機器のオプション設定

設定内容

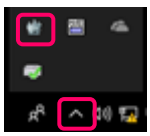
a. Proxyの設定 …… p.23
b. ビューアに表示される接続機器名の変更 …… p.25

「Proxyの設定」はご利用のネットワークの管理者に確認の上、必要な場合のみ実施してください。
入力する情報についてもネットワークの管理者に確認してください。
必要の無いネットワーク環境でProxyの設定を実施した場合は通信エラーになります。

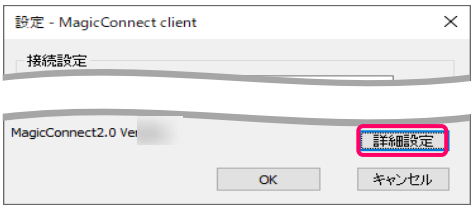
a. Proxyの設定

Step1 デスクトップの画面右下、通知領域に表示されているグレーの炎のアイコンを右クリックし、メニューから「設定...」を選択します。

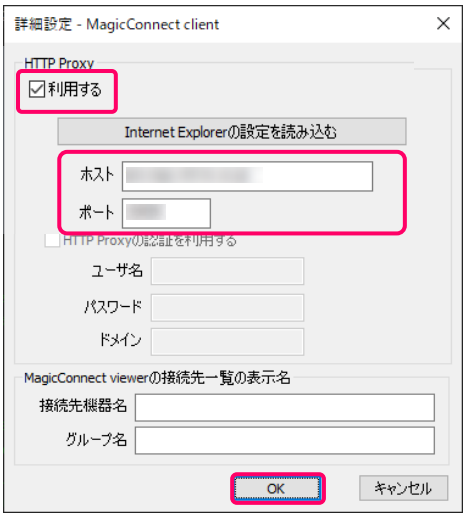
⚠注意 アイコンが表示されない場合は、通知領域の ^ を押し、隠れている炎のアイコンを表示させます。



Step2 設定画面右下の「詳細設定」を選択します。

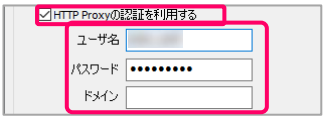


Step4 「利用する」にチェックを入れ、「ホスト」と「ポート」に利用するネットワーク環境で使用しているProxyサーバの情報を入力します。
「Internet Explorerの設定を読み込む」を押すと、
Internet ExplorerのLANの設定にあるProxyサーバのアドレスとポートを取得します。
「OK」を選択します。

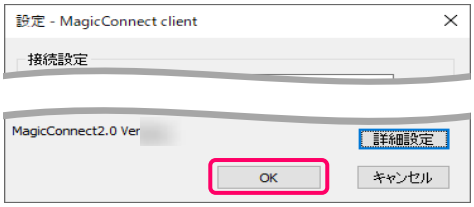


ワンポイント

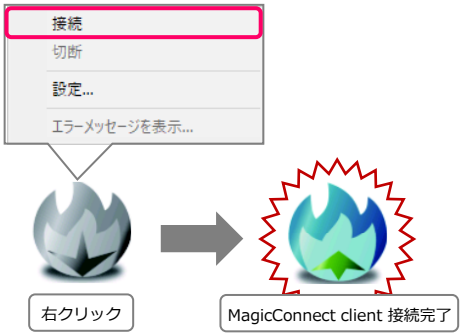
【Proxyサーバで認証を利用している場合】
「HTTP Proxyの認証を利用する」にチェックを入れ、Proxyサーバの認証情報を入力します。



Step5 設定画面の「OK」を選択します。



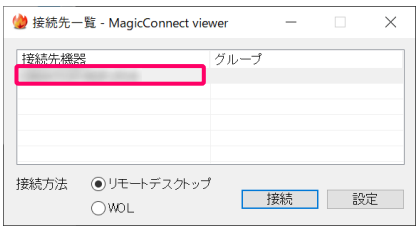
Step6 デスクトップ画面右下の通知領域にある炎のアイコンを右クリックし、メニューから、「切断」→「接続」を選択します。
アイコンがグレーからブルーに変わり、マウスカーソルをアイコンに重ねると「MagicConnect client 接続完了」と表示されます。



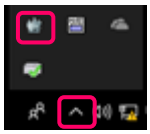
END

b. ビューアに表示される接続機器名の変更

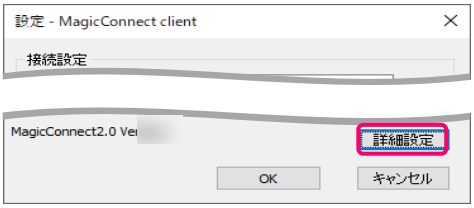
初期状態ではコンピューター名が表示されますが、
識別が容易な名前を指定することができます。



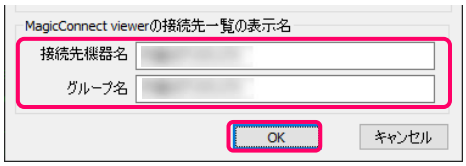
Step1 デスクトップの画面右下、通知領域に表示されている炎のアイコンを右クリックし、メニューから「設定...」を選択します。

> ⚠注意 アイコンが表示されない場合は、通知領域の ^ を押し、隠れている炎のアイコンを表示させます。
>
> 

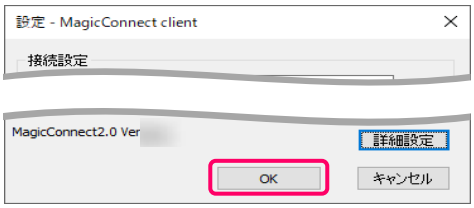
Step2 設定画面右下の「詳細設定」を選択します。



Step3 「接続先機器名」に表示名を入力します。「グループ名」の入力は任意です。
「接続先機器名」が空欄の場合、ビューアの接続先一覧画面にはコンピューター名が表示されます。



Step4 設定画面の「OK」を選択します。



Step5 接続中の場合、切断、接続後に設定変更が反映されます。

END

手元端末のオプション設定 [Windows]

設定内容

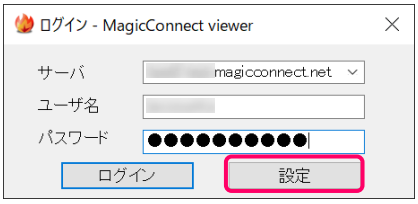
a. Proxyの設定 ····· p.26
b. MCアシストの設定 ····· p.27

「Proxyの設定」はご利用のネットワークの管理者に確認の上、必要な場合のみ実施してください。
入力する情報についてもネットワークの管理者に確認してください。
必要の無いネットワーク環境でProxyの設定を実施した場合は通信エラーになります。

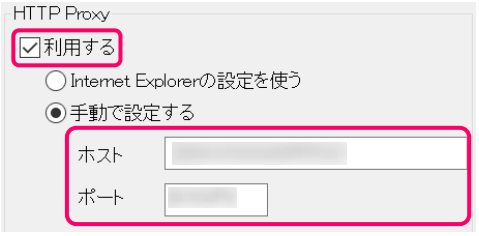
一般的なネットワーク環境では初期設定（「利用する」+「Internet Explorerの設定を使う」）のまま利用できます。

a. Proxyの設定

Step1 ログイン画面で設定を選択します。

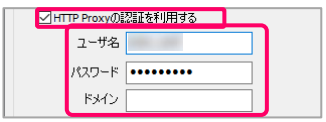


Step2 「HTTP Proxy」の「利用する」にチェックを入れ「手動で設定する」を選択します。
「ホスト」と「ポート」に利用するネットワーク環境で使用しているProxyサーバの情報を入力し、画面左下の「OK」を選択します。



ワンポイント

【Proxyサーバで認証を利用している場合】
「HTTP Proxyの認証を利用する」にチェックを入れ、Proxyサーバの認証情報を入力します。



END

b. MCアシストの設定

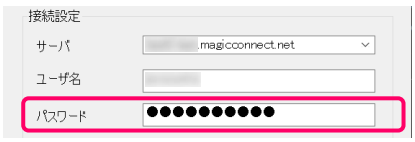
MC アシストを利用すると、マジックコネクトサーバへの接続～接続先機器のWindowsログオン画面表示までを自動的に実行できます。

> ⚠注意 本項の設定を行う前に、下記を満たすようにしてください。
> （1）手元端末の Windows ユーザーに、パスワードを設定している。
> （2）前ページまでの設定を行い、手元端末から接続先機器へアクセスできることを確認している。

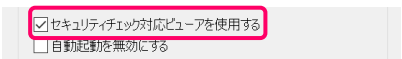
Step1 [スタート]→[MagicConnect2.0 Viewer] から「MC アシスト設定」を実行します。

Step2 右記画面の「パスワード」に、マジックコネクトのパスワードを入力します。

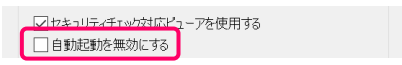
> ⚠注意 「サーバ」と「ユーザ名」が未入力の場合、すべて入力してください。



Step3 右記画面の「セキュリティチェック対応ビューアを使用する」にチェックを入れます。



Step4 右記画面の「自動起動を無効にする」のチェックを外します。



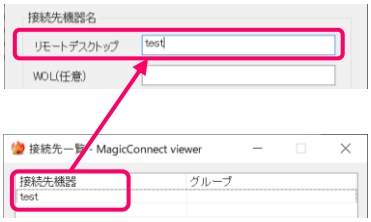
チェックを入れる	MC アシスト実行後、ログオン画面表示までの手順は実行されません。 （MC アシスト：無効）
チェックを外す	MC アシスト実行後、自動的にログオン画面表示までの手順が実行されます。 （MC アシスト：有効）

Step5 下記の（a）または（b）の利用形態に応じて、接続先機器のホスト名を設定します。

（a）接続先機器がマジックコネクトサーバに常時接続している場合

Step1 [接続先機器名] →「リモートデスクトップ」に接続先機器名(※) を入力します。

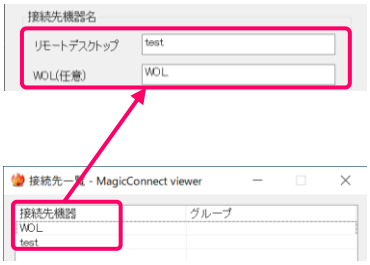
※ 接続先機器名は、MagicConnect viewer 接続先一覧画面の「接続先機器」に表示されている名称です。



（b）接続先機器が電源オフ状態にあり、MC3000 で起動してマジックコネクトサーバに接続している場合

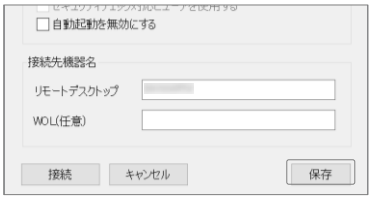
Step1 [接続先機器名]→「リモートデスクトップ」に接続先機器名(※) を入力します。
「WOL(任意)」にMC3000の接続先機器名(※) を入力します。

※ 各接続先機器名は、MagicConnect viewer 接続先一覧画面の「接続先機器」に表示されている名称です。



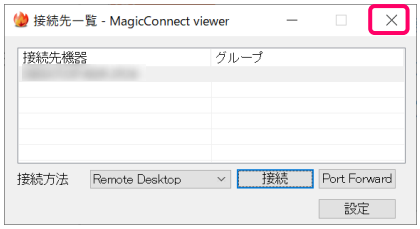
Step6 「保存」を押します。

続いて「接続」を押し、接続先機器のWindowsサインイン画面を表示できることを確認します。



Step7 マウスカーソルをデスクトップ画面の最上端に移動し、台形の上部バーの「×」を押して終了させます。

Step8 接続先一覧画面が表示されている場合、右上の「×」を押して終了させます。



以上でMCアシストの設定は完了です。
以降は、デスクトップの「MC アシスト」を実行すると、接続先機器のWindowsサインイン画面が表示されるようになります。

MCアシスト

ダブルクリック

END

手元端末のオプション設定［iPhone/iPad, Android端末］

iPadを例に説明します。

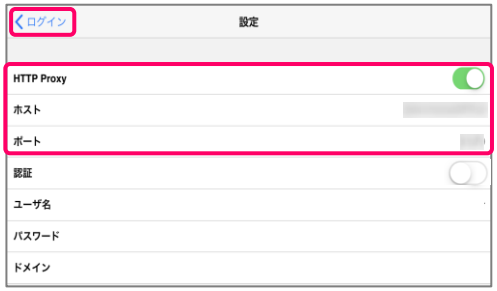
設定内容	
a. Proxyの設定	····· p.29

「Proxyの設定」はご利用のネットワークの管理者に確認の上、必要な場合のみ実施してください。
入力する情報についてもネットワークの管理者に確認してください。
必要の無いネットワーク環境でProxyの設定を実施した場合は通信エラーになります。

a. Proxyの設定

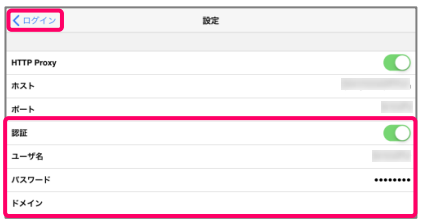
Step1 ログイン画面右上にある「設定」を選択します。

Step2 「HTTP Proxy」をオンにして、「ホスト」と「ポート」に利用するネットワーク環境で使用しているProxyサーバの情報を入力します。
画面左上にある「ログイン」を選択します。



ワンポイント

【Proxyサーバで認証を利用している場合】
「認証」をオンにして、Proxyサーバの認証情報を入力します。



END